

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2000-293195 (P2000-293195A)

【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)

【出願番号】特願 平 11-102162

【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 15/22

G 0 6 F 3/16

G 1 0 L 15/00

G 1 0 L 15/28

【F I】

G 1 0 L 3/00 5 6 1 F

G 0 6 F 3/16 3 2 0 H

G 0 6 F 3/16 3 2 0 G

G 1 0 L 3/00 5 5 1 Q

G 1 0 L 3/00 5 5 1 H

G 1 0 L 3/00 5 5 1 P

G 1 0 L 3/00 5 6 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 11 日 (2003.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声を入力する音声入力手段と、
 入力した音声指定された認識対象辞書の範囲内で認識する音声認識手段と、
 該音声認識手段の認識結果を保持する結果保持手段と、
 認識結果を出力する認識結果出力手段と、
 予め指定されている基本認識対象辞書から前記音声認識手段が用いる認識対象辞書を生成する認識対象生成手段とからなり、
 前記認識対象生成手段は、前記基本認識対象辞書と、予め指定されている訂正用語辞書を組合せて、新たに認識対象辞書を作成し、
 前記結果保持手段は、前記音声認識手段の認識結果に訂正用語を含んでいる場合には、該訂正用語の意図に対応した訂正を前記保持される認識結果に施した結果を出力する、
 ことを特徴とする音声入力装置。

【請求項 2】

音声を入力する手段と、
 入力音声を認識する認識手段と、
 上記入力音声の認識結果を出力する出力手段と、を有し、
 上記認識手段は、上記認識結果が誤認識語を含む際に、該誤認識語を含む訂正対象、正しい語、およびそれらの語のいずれが正しいか誤りかを示す語句とを訂正として上記入力手段から入力して、該訂正を認識して上記認識結果の一部分の誤認識語を正しい語に修正した結果を最終結果として出力することを特徴とする音声入力装置。

【請求項 3】

上記誤認識語及び上記正しい語の入力は、該誤認識語及びそれに対応する正しい語の前又は後、若しくは前後の語を含む単位で行うことを特徴とする請求項 2 記載の音声入力装置。

【請求項 4】

音声を入力する手段と、

入力音声を認識する認識手段と、

上記入力音声の認識結果を出力する出力手段と、を有し、

上記認識手段は、上記認識結果が誤認識語を含む際に、正しい認識であることを示す語句及び、該誤認識語については対応する正しい語との組み合わせを訂正として上記入力手段から入力して、該訂正を認識して上記認識結果の一部分の誤認識語を正しい語に修正した結果を最終結果として出力することを特徴とする音声入力装置。

【請求項 5】

数字音声を入力する手段と、

入力音声を認識する認識手段と、

上記入力音声の認識結果を出力する出力手段と、を有し、

上記認識手段は、上記認識結果の数字が誤認識語の際に、該誤認識数字と正しい数字の数学演算的な相違を演算子と数字との組み合わせで示した語句を、訂正として上記入力手段から入力して、該訂正を認識して上記誤認識数字に上記訂正が指示する演算を施して得られる数字を最終結果として出力することを特徴とする音声入力装置。

【請求項 6】

数字音声を入力する手段と、

入力音声を認識する認識手段と、

上記入力音声の認識結果を出力する出力手段と、

数字の位を含まない棒読みを認識するための辞書、および、数字の位を含む桁読みを認識するための辞書と、を有し、

前記認識手段は、前記認識結果が訂正用語を含み、かつ、数字の桁読みを含んでいる場合には、該桁読みの桁情報で修正位置を特定した上で、前記訂正用語の意図に対応した訂正を前記認識結果に施し、訂正した結果を出力することを特徴とする音声入力装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

ところで、ここでの例は簡単のために 3 ~ 4 桁の連続数字と少ない桁数であるが、桁数が多くなったときに、全てを言い直すことと比較して、利用者の負担が少ないことは明らかである。また、同じ方法により繰り返し訂正をすることもできる。

上記のように本願の音声入力装置は、音声を入力する音声入力手段と、入力した音声を指定された認識対象辞書の範囲内で認識する音声認識手段と、該音声認識手段の認識結果を保持する結果保持手段と、認識結果を出力する認識結果出力手段と、予め指定されている基本認識対象辞書などを元に前記音声認識手段が用いる認識対象辞書を生成する認識対象生成手段とからなる。さらに認識対象生成手段が、前記基本認識対象辞書と、予め指定されている訂正用語辞書を組合せて、新たに認識対象辞書を作成し、前記結果保持手段は、前記音声認識手段の認識結果に訂正用語を含んでいる場合には、該訂正用語の意図に対応した訂正を保持内容に対して施した結果を出力する。又、基本認識対象辞書が、数字の位を含まない棒読みを認識するための辞書、および、数字の位を含む桁読みを認識するための辞書を含み、前記結果保持手段は、前記音声認識手段の認識結果に訂正用語を含み、かつ、数字の桁読みを含んでいる場合には、該桁読みの桁情報で修正位置を特定した上で、前記訂正用語の意図に対応した訂正を保持内容に対して施し、訂正した結果を出力するようにすることもできる。